

このみちは…

岩瀬駅と雨引観音入口バス停を起終点とするこのコースは、雨引観音や雨引千勝神社さらには展望の開ける御嶽山、雨引山などをめぐり、延長約9kmの一般向けの歩道です。

雨引観音 雨引山薬法寺は、雨引山の中腹にある真言宗豊山派の寺で、約1,300年前に中国の「法論独守居士」という人が開基したと伝えられています。坂東24番札所として関東地方屈指の霊場であり、古くから参詣者が多く、安産・子育ての観音様として親しまれています。また、本尊の延命観世音菩薩は国の重要文化財に、本堂や多宝塔・仁王門などは県の文化財に指定されており、寺の境内は荘厳な雰囲気を感じられます。

御嶽山 筑波山系の最北端に位置する標高230mの山で、春のヤマツツジ、秋の紅葉は特にすばらしい。山頂の休憩所からは、岩瀬の街並や富谷山・鷲巻山の山々が展望できます。

雨引山 岩瀬町と笠間市の境に位置する標高409mの山で、山頂からは北東に岩瀬町と笠間市方面に連なる雨巻山や仏頂山を、南西には常総平野の田園風景を一望することができます。

禅光寺 瑞雲山祥光寺は、大同元年(806)に法相宗の徳一大師によって開基したと伝えられ、正平2年(1347)夢窓国師により改宗された臨済宗鎌倉建長寺派の寺です。境内の石造多宝塔は、関東地方に三つしかないといわれる貴重なもので、県の文化財です。

雨引千勝神社 大同2年(807)の創建で、祭神は道案内と産業の神様で知られる猿彦彦命を祀り、千勝大明神と呼ばれていました。明治6年(1873)神社の名を雨引千勝神社と改められました。神社の紋章(菊水)は、常陸の国にきた楠木氏が戦勝祈願のため、菊水の紋を木に彫り奉獻したものです。境内のケヤキは、樹齢520年と推定されており、当時の藩主が植えたものと伝えられ、シイの大木も神木です。

交通機関

- ▶ JR水戸線岩瀬駅
- ▶ 雨引観音入口バス停 関東鉄道バス 岩瀬駅入口バス停 10分

行事

- マダラ鬼神祭(薬法寺) 11月23日実施(開催年不定期 薬法寺に確認)

公的宿泊施設

- 老人福祉センター「あまびき」 大和村本木4-2 ☎0296-58-5211

連絡コースの案内

連絡コースには標識等を設けておらず、また自動車等の交通量も多いので、接続するコースに移動する場合は注意して下さい。

岩瀬駅 タクシー 観音様を訪ねるみち、延長7km (バス廃線になった)

みどころ



雨引観音(初夏)



雨引観音(春)



自然歩道



楽しいハイキングのために

- 野の花や木は、自然の中でこそ美しいです。自然のままに残しましょう。
- 歩きながらの「タバコ」はやめましょう。火の元には十分注意しましょう。
- あとから来る人のために、自分のゴミは自分で持ち帰りましょう。
- 案内板や標識はみんなの道しるべです。大切にしましょう。
- 交通の不便なところがありますから、あらかじめよく調べておきましょう。

お問い合わせは

茨城県生活環境部環境政策課
〒310-855 水戸市笠原町978-6 ☎029-301-1111(代)

岩瀬町役場環境整備課
〒309-1292 西茨城郡岩瀬町64-2 ☎0296-75-3111

大和村役場企画課
〒309-1293 真壁郡大和村羽田1023 ☎0296-58-5111



首都圏自然歩道

関東ふれあいの道

茨城県 7

御嶽山から坂東24番札所へのみち

岩瀬駅～雨引観音入口バス停



核間の筑波山、遠真 (大和村雨引山から撮影)

関東ふれあいの道は、

首都圏に残された美しい自然や歴史的文化遺産などを“みち”で結び、首都圏を一周する長距離自然歩道です。

茨城県内のルートは、御前山村から御前山、笠間県立自然公園、

水郷筑波国定公園や筑波研究学園都市を経て東町へ至る延長約255kmで、

18のコースにより構成されています。

家族や友人と一緒に歩きましょう。



茨城県